『それから』撮影中の森田芳光（1985 年） 篠山紀信撮影

展覧会
映画監督　森田芳光

Film Director Yoshimitsu Morita

2025.8.12（火）—11.30（日）

8mm映画の自主制作を皮切りに、商業映画デビュー作『の・ようなもの』（1981）以来、独立独歩のフィルムメーカーとして1980年代以降の日本映画に絶え間なく話題作を提供してきた森田芳光（1950-2011）。作家的評価を高めた『家族ゲーム』（1983）や『それから』（1985）、新しいメディアに着目しながら普遍的なコミュニケーションのドラマを描き出した『（ハル）』（1996）、ベストセラー小説を独自の解釈で映画化した『失楽園』（1997）や『黒い家』（1999）――喜劇、アイドル映画、文芸映画、恋愛映画、ホラー映画、ミステリー映画、時代劇といったジャンルの垣根を取り払い、時代の世相も巧みに取り入れながら、一作ごとに異なるスタイルや意表をつく演出を盛り込んだ作品群は、時に社会現象となるほどの大きな反響を呼び起こしました。

近年、森田芳光の作品は米国、フランス、韓国、台湾など世界の各地で上映されており、国際的な再評価が活発になっています。没後15年となる2026年を前に、国立映画アーカイブでは、8月12日（火）より展覧会「映画監督　森田芳光」を開催します。本企画は、10月14日（火）より開催する上映企画との連動により、森田の活躍の軌跡をたどる特集となっております。展示、上映ともに付随する多彩な関連イベントにもご注目ください。

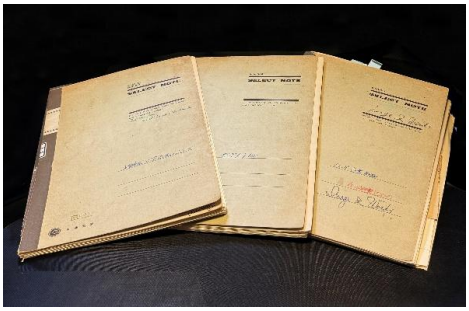
展覧会情報

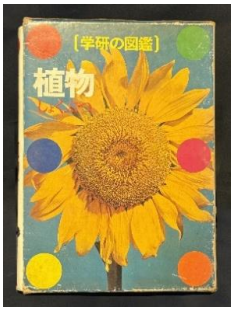
2026 年に没後 15 年を迎える森田芳光、初の本格的回顧展。本人の愛蔵品や劇中で使われた小道具など、森田が送り出した多彩な映画作品にまつわる資料を幅広く取り上げ、近年世界的に進みつつある再評価の流れにも触れながら、アイデアと独創に満ちた監督像を示します。

展覧会名：**映画監督　森田芳光**
（英題：Film Director Yoshimitsu Morita）
会期：**2025年8月12日（火）－11月30日（日）**
※月曜日、8月26日（火）－9月5日（金）、10月7日（火）－10月12日（日）は休室
会場：**国立映画アーカイブ　展示室（7階）**
開室時間：午前11時－午後6時30分（入室は午後6時まで）
＊9/26、10/31、11/28の金曜日は開室時間を午後8時まで延長いたします。（入室は午後7時30分まで）
主催：国立映画アーカイブ、ニューズ・コーポレイション（森田芳光事務所）
ＨＰ：https://www.nfaj.go.jp/exhibition/morita2025/
観覧料：一般500円(400円)／大学生300円(240円)／65歳以上・高校生以下及び18歳未満、障害者手帳をお持ちの方（付添者は原則1名まで）、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

展覧会の構成

- ●『家族ゲーム』食卓再現コーナー
- ●監督の書斎を再現
- ●秘蔵資料満載の引き出しケース
- ●海外から寄せられたコメント集
- ●愛聴レコードギャラリー
- ●ポスターギャラリー　ほか



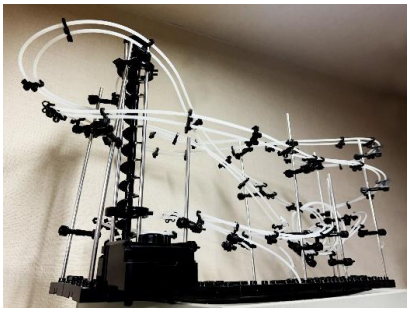


左：愛用の 8 ミリ機材　森田芳光事務所所蔵　　中：自主映画時代のアイデアノート　森田芳光事務所所蔵
右：『家族ゲーム』（1983 年）小道具　植物図鑑　森田芳光事務所所蔵

見どころ

▼史上初となる本格的回顧展！ 森田組スタッフ全面協力による独創の展示空間に注目

森田芳光事務所をはじめ各所の秘蔵資料が一堂に会する、「映画監督　森田芳光」に着目した史上初の本格的回顧展です。森田組スタッフの全面協力のもとしつらえられた、森田映画の独特な作品世界を思わせるユニークな展示空間にもぜひご注目ください。本展のために再製作された『**家族ゲーム**』（1983）の食卓や、監督の創造の場となった**書斎の再現セット**、愛聴盤が一同に会する**レコードギャラリー**、監督作品の**ポスターギャラリー**のほか、盛りだくさんの見どころが会場を彩ります。



左：『の・ようなもの』（1981 年）フィルム缶　森田芳光事務所所蔵
中：『家族ゲーム』（1983 年）小道具 インテリアコースター　森田芳光事務所所蔵
右：『未来の想い出 Last Christmas』（1992 年）劇中キャラクターのぬいぐるみ　杉山泰一氏所蔵

▼森田の作品と人物像を深く知るための多彩なトークイベント

会期中には、森田と大学時代に知り合い、以来公私にわたるパートナーとして共に作品を送り出してきた映画プロデューサーの三沢和子氏、そして初期からの森田映画フリークであり、三沢氏とともに大著『森田芳光全映画』（リトル・モア）を刊行したラッパー、ラジオパーソナリティのライムスター宇多丸氏が展示の見どころについて語ります。

開催日：2025 年 8 月 23 日（土）
講師：ライムスター宇多丸氏（ラッパー、ラジオパーソナリティ）
場所：7 階ロビー（7 階）

開催日：2025 年 10 月 18 日（土）
講師：三沢和子氏（プロデューサー）　聞き手：佐野亨（当館特定研究員）
場所：7 階ロビー（7 階）

＊詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

▼展覧会と連動した特集上映を開催、ニュープリント作品も多数

会期後半の10月14日（火）から11月23日（日）にかけては、同タイトルの特集上映も開催いたします。自主映画時代の8mm作品、鮮烈な商業映画デビューを飾った『の・ようなもの』（1981）、社会現象を巻き起こした『家族ゲーム』（1983）、遺作となった『僕達急行 A列車で行こう』（2012）など森田の監督作品を辿るだけでなく、脚本を担当した『ウホッホ探検隊』（1986、根岸吉太郎監督）などの作品も上映し、脚本家・森田芳光の功績を再検証します。また、上映作品の多くは今回の特集のためにニュープリントを作製しました。

関連上映企画

企画名：**映画監督 森田芳光**
（英題：Yoshimitsu Morita Retrospective）
会期：**2025年10月14日（火）－26日（日）、11月4日（火）－23日（日）**
※月曜休館
会場：**国立映画アーカイブ　長瀬記念ホール OZU［2階］**
主催：国立映画アーカイブ
協力：ニューズ・コーポレイション（森田芳光事務所）
ＨＰ：https://www.nfaj.go.jp/film-program/yoshimitsu-morita202510/

＊上映作品など、詳細は後日発表いたします。

広報用画像＆読者プレゼント招待券 申請書

展覧会「映画監督 森田芳光」

送付先　**国立映画アーカイブ　広報担当行　メール：pr@nfaj.go.jp　FAX：03-3561-0830**

＊広報用画像をご希望の方は、本プレスリリースに掲載されている画像の番号をご参照の上、貸出を希望されるデータの□にチェックをつけ、上記の宛先までをご送付ください。

□	①	**『それから』撮影中の森田芳光（1985年）　篠山紀信撮影**
□	②	**愛用の8ミリ機材　森田芳光事務所所蔵**
□	③	**自主映画時代のアイデアノート　森田芳光事務所所蔵**
□	④	**『家族ゲーム』（1983年）小道具 植物図鑑　森田芳光事務所所蔵**
□	⑤	**『の・ようなもの』（1981年）フィルム缶　森田芳光事務所所蔵**
□	⑥	**『家族ゲーム』（1983年）小道具 インテリアコースター　森田芳光事務所所蔵**
□	⑦	**『未来の想い出 Last Christmas』（1992年）劇中キャラクターのぬいぐるみ　杉山泰一氏所蔵**

※太字の作品名・制作年・日本公開年・監督名・著作権表記は掲載必須です。

画像データ貸出希望日時	月　　日　　時頃までに希望
読者プレゼント招待券（展覧会のみ）	組　　名（合計　　枚）　希望します

プレス・イメージ貸出条件

1. 画像は、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。2. データを第三者に渡すことは禁じます。使用後、画像データは消去してください。3. 展覧会の名称、期間、会場は、適切な場所、大きさで明示していただくようお願いいたします。4. 作品画像は全図で使用してください。部分使用やトリミング、作品に文字を重ねることはできません。5. 画像を掲載される際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記載ください。 6. 掲載紙（誌）は、１部、広報担当宛にご寄贈ください。webサイトの場合は、掲載時にお知らせください。

＊画像データ(JPEG)にてお貸出いたします。その際、一緒にお送りするキャプションもご確認ください。

＊掲載前に、校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。

お名前：　　ご所属・媒体名：

出版物・放送番組名：

TEL：　　FAX：

メールアドレス：